

(様式6-1)

## 実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	人口減少下における地域居住者主体のまちづくり・ひとづくりに関する研究
助成事業者	都城工業高等専門学校建築学科・杉本研究室
代表者	杉本弘文
<p>(目的)</p> <p>本研究は宮崎県都城市庄内町を対象に地域資源を活かしてNPO法人、地域の高齢者、都城高専の学生らが協同・協働してまちの再生・活性化に取り組み、アクションリサーチを通じて、『持続可能なまちづくり』に寄与する地域再生のプロセスを検証し、その具体的方法論についてソフトとハードの両側面より検討するものである。</p>	
<p>(概要)</p> <p>本研究は2017年度より継続的に行っており、2018年7月～9月には地域居住者に対するアンケート調査を実施し、2018年6月～8月には地域の子ども達とワークショップ(WS)を通じてもちなが邸敷地内に協同でツリーハウスを、2019年3月にはもちなが邸の庭に茶室を製作した。この様子は宮日新聞等でも掲載されている。土蔵をリノベーションしてオープン(2018年4月)したカフェの企画・運営にも学生が参画し、研究資料の収集を行いながら地域拠点としての計画・整備を進めている。研究の一環として、年に3～4回程度学生主体でのイベント(WS等)を実施し、子ども達を中心にものづくり・学習支援等を行っている。尚、本研究の成果は、各種フォーラム・シンポジウム・学会で研究発表を行っている。</p> <p>本事業期間においては、これまでの研究データの分析を行った結果、地域内に多く点在する空き家に関する地域居住者の関心や問題意識が高く、地域の高齢化を進行させる要因ともなっている可能性を見い出せたため、主に都城高専の学生が主体となり地域の方々とも協働しながら空き家改修プロジェクト(通称:みんなののうちプロジェクト)を遂行した。加えて、地域内の施設分布調査や土地利用状況調査、参加・体験型ワークショップにおけるアンケート・ヒアリング調査、店舗経営者に対する聞き取り調査等を実施し、プロジェクトの効果を定量的に分析するための基礎的データを把握した。プロジェクトのなかで実施している種々のワークショップやイベントの情報等はSNSや地域情報誌(フリーペーパー:都城高専の学生が取材・製作し年4回発行)により行なうと共に、地域イベント(そうあいべっぴんシェアの会:月1回開催、NPO法人手仕事舎そうあい主催)の際に、都城高専学生による研究発表会を定期的に行なっている。本事業期間を通じて地域内の様々な繋がりが生まれ、そのひとつとして物件オーナーからの依頼・協力による学生による空き店舗の改修計画も進んでおり、2020年2月には地域の人々も巻き込んだお掃除ワークショップを実施し、2020年3月より学生による改修作業が行われている。今後も様々な主体の協働により継続的・実践的に活動を行い、社会実装型の研究を展開したい。</p>	